

ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

都市ならではの災害に対応するには

東京・渋谷区立笹塚小で防災科学教室



①横山さんのクイズに、元気よく手を挙げる児童 ②赤い円は暴風域、黄色い円は強風域、白い円は予報円 ③講師の横山さん。PTAの保護者が手作りした名札を胸に ④⑤児童がマークを切ったり数えたりしている

財団のソフト事業「教育応援隊」のプログラムのひとつ、「防災科学教室」が11月8日、東京都渋谷区の区立笹塚小学校（西田香校長、児童550人）で開かれました。この教室は国立研究開発法人防災科学技術研究所と財団が、参加団体向けに共催しているものです。

この日は、笹塚小PTAと地域学校協働本部が共同で開催する「防災宿泊体験会」。6年生を対象に参加を呼びかけ、希望者が防災を学ぶイベントです。児童と保護者合わせて約40人が集まりました。

今回の講師は水・土砂防災研究部門の特別研究員、横山仁さん。テーマは「都市のヒートアイランド現象とゲリラ豪雨」で、スクリーンに資料を映しながら講話をしました。

横山さんがまず映したのは大きな渦を

巻く雲の写真。約1カ月前に日本列島の東を通過した台風22号です。

授業はクイズを交えながら進みます。「写真にある赤い円、黄色い円、白い円はなんだろう？」「台風はどちら回り？」「ここ数年、台風がどんどんすごくなっている要因は？」と続く質問に、どの児童もしっかり手を挙げて答えました。

答えは、赤い円が暴風域、黄色い円が強風域、白い円が予報円。回り方は反時計回りで、風がより強いのは右側。台風の力が強まっている要因は地球温暖化です。

地球温暖化によって、世界の年平均気温は100年で0.77℃上がりました。次のクイズは「日本で見ると1.4℃上がっています。その中でも大都市東京は3℃くらい上がりました。なぜ東京だけ？」です。正解はヒートアイランド現象。アスファ

ルトの多い東京は、太陽から多くの熱を吸収します。そして、ヒートアイランド現象のあたたかい空気が引き起こすのがゲリラ豪雨。どちらも、都心に住む笹塚小の児童にとって身近な気象現象です。

最後に、渋谷区が発行している「渋谷区民防災マニュアル」を確認しました。「自分の住んでいる地域の地形や、昔どのような土地だったかにも関心を持ちましょう。日頃から天気、気温、湿度の変化に興味を持つこともいざというときに役立ちます」と横山さんは防災への心構えを伝えました。



笹塚小学校では、今年度からベルマーク活動の中心を5、6年生の環境美化委員会に移し、保護者はサポート役として児童を見守る体制を整えました。

渋谷区内の公立小中学校では、昨年度から「探究学習」の時間を増やす取り組みが始まり、「ベルマークこそ、子どもが気軽に自分たちでできる探究活動」との考えから、2024年度にPTA会長を務めた村竹あつこさんが改革に取り組んだ成果です。村竹さんは「子どもも楽しんでいるし、保護者からも学校の様子を見ることができて楽しいという声が上がっています。どちらも嬉しくなることを目指している」と語ってくれました。

日頃からの備えが
大切なんだね!!



今年度、日本人学校支援の対象校は4校

2025年度に予定していた支援は完了

ベルマーク財団が毎年実施している日本人学校支援について、2025年度の対象校が決まりました。ドイツのマイッツ日本語補習授業校、インドネシアのスラバヤ日本人学校、ドイツのハンブルグ日本人学校、スペインのバルセロナ日本人学校の計4校です。それぞれの学校が希望する備品・教材を贈りました。希望が多かったのは絵本や紙芝居、かるたといった日本の文化を学べる教材。一方で、玉入れ用の布製ボールや長縄などの体力づくりに役立つ教材を選んだ学校もありました。

財団は、日本人学校への支援を1991年度から実施してきました。これまで支援した学校は、今年度分を含め

て286校になります。

これをもって、2025年度に予定していたすべての支援が完了しました。今年度は全国のへき地学校100校、特別支援学校39校、3つの院内学級、能登半島地震の被災地にある28校、岩手・宮城・福島3県の東日本大震災被災校103校、日本人学校4校に備品・教材を届けることができました。このような支援は、参加団体の皆さんの日々の活動と、財団に寄せられる寄贈マークなどによって実現することができています。

これからもベルマーク運動へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

エプソン製カートリッジ
webフォームでの受付に

専用回収箱の請求や回収の依頼

協賛会社のエプソン販売（ベルマーク番号73）は、使用済みインク・トナーカートリッジのリサイクルの申し込み方法や問い合わせ先をすべてwebフォームに切り替えました。回収箱や各種資料に記載されているこれまでの電話番号とFAX番号は使うことができません。

集めたカートリッジを入れる回収箱の請求や、運送会社への回収の依頼は以下のURLをご確認ください。

ベルマーク活動 各種お申し込み：<https://www.epson.jp/recycle/bellmark/tejun.htm>